

外国知的財産ニュース

【米国】9月18日発行公開公報件数の増大（2014/09/04）（2014/9/18追記）

米国特許商標庁（USPTO）より、9/18(木)発行の公開特許について、毎週の平均のおよそ4倍～5倍にあたる30,000件程度の発行を予定しているとの通知がありました。これは昨年の米国発明者法（AIA）の改正があった際、改正法の施行直前に大量の駆け込み出願があったことに伴うものです。

※9/18 USPTOデータベースにて24,004件の発行が確認されました。

駆け込み出願の理由については下記102条の改正が考えられます。

- ・新規性の基準日が「発明日」から「有効出願日」となった
- ・新規性が否定される先行技術について、「米国内での公知」から「世界公知」となった
- ・グレースピリオドについて「有効出願日前1年以内の（共同）発明者の開示もしくは（共同）発明者からの情報により第三者が開示」したものは先行技術とはみなされない旨の規定がされた

詳細な内容についてはUSPTOウェブサイトや代理人などにご確認ください。

弊社JP-NET／NewCSSサービスなどにおける該当日の更新につきましては、9/24(水)を予定しております。ご利用の際の注意点につきましてはデータベースのお知らせ等にて掲載しております。

日本パテントデータサービス(株)
国際部